

PTA会報

NO26

さくら

編集・発行 2019年10月9日

神河中学校 PTA文化・研修部



特集：第9回体育大会



笑顔満開の秋らしいさわやかな一日となりました。

「ともに『生きる力』を高めるために」

神河中学校PTA副会長 平岡万寿夫

8月23日から24日かけて日本PTA全国研究大会兵庫大会が開催され、「いのちを守る防災教育」の分科会に参加しました。

近年日本のあらゆる地域で大規模災害がいつ発生するかもしれない実情において、子ども達にも「防災」について知っておいてほしいとの内容でした。その理由が、防災への考え方が進化していること、そして基本的な知識のもと場面に応じて臨機応変に対応することが求められているとのことでした。

中学生は行動範囲も確実に広がっているとはいえ、私にとってはまだまだ子どもであると考えており、保護者、学校や地域の目が届くものと考えています。しかしながら、子ども達は着実に成長しており、来年には高校等への進学が控え、保護者としても大人への階段をしっかりと登ってほしいと考える時、子ども達への接し方も意識して変えていく必要があるとも感じています。

子ども達が成長していく中で私が出来ること、伝えられることとは何かと考えた時、それは「経験」しかないと思いました。その経験とは、私が人生そのものであり、これから生きていく術でもあると考えています。

子ども達には色々な経験を積んでほしいと考えています。子ども達にはよく考えて行動するようにとつい言ってしまいがちですが、子ども達の行動や発言はこれまでの子ども達自身の経験でしか考え判断することが出来ないと思っています。そんな子どもの成長を見届ける保護者の私にも助言できるものもあると考えます。

夏休みを終え学校以外での沢山の経験を省みながら、子ども達には自分自身を見つめる時間を大切にしながら、新しい経験を積むためにできることを考えて行ってほしいと思います。

「ジェンカのように」

神河中学校教頭 古河 享正

今年の春に鶴居中から転勤した私にとって、神河中学校で過ごしたこの1学期は、新たな驚きの連続でした。校区の広さ、生徒が話す言葉のイントネーションの違い、バス通学、立派な校舎、給食のご飯をお皿で食べること・・・などなど。ようやく「ほんの少しだけ慣れてきたかな？」という所で1学期が終了し、夏休みを迎え2学期もまたこの体育大会で驚きの幕開けとなりました。

その1。トラックをぐるりと取り囲んだテントの風景。やはり生徒数が多いということは「いい!」、そう実感しました。神河町の老若男女全ての方々が中学生の頑張る姿に一喜一憂するなんて、何て素敵な風景なのだろうと思いました。

その2。ジェンカは「イイ」。生徒、保護者、町長さんをはじめ地域の方々が繋がっていく風景は神河町の中学校そのものだと思います。妻からは「体育大会にフォークダンスがある。」と聞いてはいたのですが、心の内では正直「えっ?」と引き気味でした。ところが実際にその場に参加すると・・・一番の盛り上がりで、クライマックスそのものでした。

その3。天気が「イイ」。ここ数年間、当日開催が出来ず、体育担当をはじめヤキモキする日々の連続だったもので・・・正直な実感です。誰の引きの強さかな?

実は体育大会前日の夜、こっそり3年生のHR教室を覗きに行きました。黒板には、1組:「#令和最初の優勝は俺達1組」「かまちゃん学級ハート」・・・。2組:「最高の友と最高の体育大会へ」

「みんなで贈ろう岸本先生初優勝」・・・。3組：「楽しんでたのでは全学年でNo.1であれ！！」「たくさんの人にありがとう」・・・。プーさんの絵やらカラフルな文字で生徒の寄せ書きやら先生からのメッセージが黒板一杯に3クラスとも書いてありました。3年生の授業には関わっていない私ですが、体育大会に向け盛り上がっているクラスのムードをうかがい知ることが出来ました。後日談となりますが、上月学年主任は、「体育大会期間での生徒の成長が一番うれしい！」「担任がうらやましい！！」と叫んでいました。それだけ3年生担任を中心として生徒・教師とも団結し、一つの行事を作り上げやり遂げた証拠かなと感じたものです。

教頭として体育大会での反省はたくさんあります。中でも今回強く心に残っていることは、きつとお孫さんの姿を楽しみにして来られたのでしょうか、お爺ちゃんやお婆ちゃんが遠くから運動場まで歩いてこられる姿です。保護者の皆様にもご協力頂いて敷地内への車両乗り入れをご遠慮頂いたのですが、「遠い」と感じました。このことは来年への課題です。

一人一人の生徒が、肩を組み合い「線」になり、その線の中に教師、保護者、地域の方々も加わりさらに長い「線」へと繋がっていく。最終的には神河町全ての人が生徒を中心に一本の線になり、リズムを取って踊り出す。なんと素敵なジェンカでなのでしょう。

「夏休み・体育大会を終えて」

体育補導部長 森田 保生

長かった夏休みを終え、そして、晴天に恵まれ、令和最初の体育大会も無事終わることが出来ました。

さて、次女（中学2年生）の夏休みはどうだったのか？夏の総体が終わり新チームとなりいよいよ自分たちが中心となりチームを引っ張って行く立場となり又、後輩への指導も本格的に行う立場となり、部活動の練習に通う日々でした。

女子バレー部は、2年生が3人と他の部活動と比較すれば少なく、今後の存続を心配する時期もありましたが、後輩の入部もありその心配もどこへやら消え去りました。

同級生3人の息もピッタリで新チームになり試合成績もそこそこの結果を出せているようです。部活動を通じて大切にしたいことは、仲間を思いやり、チームワークを大切に最後まで諦めずに最後までやり抜いてほしいと願っています。机上では学べないことをからだ全身を使って学んでほしいと思います。

令和元年の体育大会は真夏を思い出させるような青空の下無事終わることが出来大変良かったです。やはりここでも一番感動したシーンは、部活動行進での娘のユニホーム姿でした。チームのプラカードを持ち先頭を歩く姿に大きく感動を受け普段、家では見ることの出来ない堂々とした姿に成長の跡を感じました。

小学3年生から始めたバレーボールで、最初は家で私にも「バレーしよ」と誘って来てましたが、今となっては、娘の方が数段上手くなり全く相手にして貰えません。（涙）そんなことを思い出しながら、娘の行進する後ろ姿は普段よりも大きく頼もしくも見えました。

来年は早や3年生です。全ての行事ごとが最後となる年ですが、この神河中学校で数えきれないほどの思い出を自分のアルバムに刻み込んでほしいと思います。

「生徒達って すごい！！」

3学年主任 上月 里香

第9回体育大会が秋晴れのさわやかな空の下、開催されました。保護者の皆様をはじめ、多くの地域の方々にご観覧いただき、生徒達もいきいきと活動してくれました。本

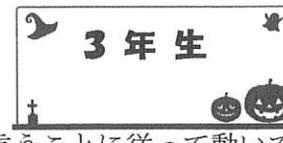
当にありがとうございました。

さて、「生徒主体」「縦割り学級で学年を越えたつながりをつくる」が根付きつつある体育大会ですが、今年も3年生を中心とした実行委員や応援リーダーは夏休みから準備を始めました。スローガンや目標を決めていく中で、「体育大会、苦手な子がおるやん」とか「大縄で引っ掛ったら責めるやん」という意見がありました。実行委員は、どの生徒にも最高の思い出となる行事にしたいと強く願っていました。そして、目標の中に、「お互いに助け合い、クラスの仲（連合の仲）を深める」という項目が入りました。今までにない目標でしたが、これこそが一番大切なこと！生徒達の心の成長をうれしく思いながら会議を重ねました。

練習が始まると、前に立って説明するもなかなか要領を得ず、全校生や連合をうまくリードできない場面もありました。日々の反省会で涙を流したり、落ち込んだり・・・。しかし、しっかりと準備をして練習に臨まないといけなことを学び、時間をかけ、何とかしようと試行錯誤。次の日には、笑顔でみんなの前に立つ姿がありました。たくましく育つ姿に感心しました。

そして迎えた体育大会当日。閉会式で副実行委員長も言っていました、新しい時代の幕開けにふさわしい大会となりました。「Let's shine 刻め僕らの青春 #令和という名のアルバムに」のスローガンの通り、生徒達のはじける笑顔 必死の形相 友を後輩を応援する大きな声 青春を存分に謳歌する様子を見せてくれました。

大会後、多くの生徒の感想に実行委員や応援リーダーへの感謝の言葉がありました。しかし、この成功の陰には、すぐ側で支えてくれた同級生、付いてきてくれた1・2年生の存在があったことに彼らも感謝しています。お互いの存在に感謝できる、そんな素敵な生徒達です。私も毎年、実行委員会の一員として見守って来ていますが、毎回生徒達の成長に驚き、パワーをもらっています。来年もまた、生徒達の輝く笑顔が見られるよう頑張ろうと思います。



◎今年の体育大会は、3年間で1番楽しかったし、やりがいを感じることができました。2年生までは、3年生の

言うことに従って動いていればよかったけど、今年は、自分たちが進んでやらないと完成しない立場だったので、とても大変でした。リーダーの言うとおりに動かないといけな、それを1・2年生に伝えなくてはいけなくて疲れました。でも、その苦労があったから、やりがいを感じられた体育大会になったのかなと思います。

自分たちが考えた体育大会。自分たちで作上げた体育大会だから、自分たち（3の1）らしい体育大会になったと思います。また、先生に指示されず3年生全体で盛り上げた体育大会は、自分たちでやったのでとても楽しかったし、充実した1日になったのかなと思いました。みんなで取った総合優勝は一生の思い出になったと思います。

◎1年生、2年生での体育大会があって、今年は初めてみんなを引っ張る側での体育大会となりました。今までの先輩方の苦労が身にしみてわかりました。全校生徒を動かすのは本当に大変なことなんだと思いました。クラスでは、最後の全員リレーで負けてしまったけど、今までの体育大会で一番楽しかったと思います。ああ、勝ち負けじゃないんだな...と感じました。

連合ではなわとび以外勝つことができました。一番楽しかったのは綱引きだけど、一番緊張したのは応援合戦でした。前で踊るのは初めてなので、本番当日は結構不安でしたが、成功してよかったです。練習では、かなりあせったけど成果を出すことができたと思います。私は、200m走に出てともしんどかったです。

今回は自分の中でも変化がありました。他の子の応援にも熱が入ったし、少しは成長できたのかなと思います。終わってなんだか寂しい感じがするのも初めてで、こんな風にこれからの生活も思い出に残していけたらいいなと思いました。

◎私たちにあって中学校最後の体育大会が終わってしまいました。夏休みの終わりから新学期も朝早く来て、放課後残って練習していたのでぽっかりと穴が空いたみたいです。みんなでジャンプでは予行で1回だったのに、58回も跳べて3-3の底力を感じました。白羽君と愛菜ちゃんを中心にがんばってきた応援合戦もどうなるかわからなかったけど、最後はちゃんとまとまったし、団結できていたんだなと思いました。部活動リレーでは男子のおかげで2位に食い込めて良かったです。久しぶりに100mを全力疾走して「体育がんばろう」と思いました。こんな感じで楽しい思い出や笑った話しか出てこないの、私は大成功だと思います。涙した子もいますが、これをバネにもっとクラスの団結力が高まっていけばいいなと思います。



2年生

◎2回目の体育大会は、来年引っ張っていく立場になる気持ちや先輩のためにがんばろうという気持ちのようなさまざまな気持ちでいっぱいの中のぞみました。結果はダメでしたが、クラスのみんなと協力できたのでよかったです。全員リレーは練習でいい感じでしたが、本番はどのクラスも速かったです。全員でバトンをつなぐことはむずかしかったけど、落とさずにつなげたことが一番良かったなと思いました。応援合戦は演技を初めて見た時、できるのかなと心配になる部分もあったけど、最後まであきらめずに教えてくださった先輩方に感謝しかありません。最後の千ヶ峰が決まった時はとても達成感がありました。部行進では先輩と一緒に堂々と行進ができたのでよかったです。個人の競技では来奈さんと一吹君と純輝君が1位になっていたのがすごいと思いました。みんなでジャンプは思っていたより跳べなかったけど、みんなで声を出してがんばれたと思いました。晴れた日だったので、気分もいい体育大会だったのでよかったです。これからもみんなで力を合わせてがんばりたいです。

◎割と楽しみにしていた行事なので、終わってしまって少しさびしいなという感じもある反面、やっと終わったという開放感もある。今年は、去年に比べるとあまり沢山の種目に出ていないこともあって、テントで見る時間が長かった。そんな時、前に出て司会をされている先輩方の姿や先導されている姿を見て来年は自分たちの番なんだなとしみじみと感じた。応援合戦では、最初はダンスのやり方がわからなくて、ほんまに体育大会本番までに間に合うのかと心配したが、先輩方にサポートしていただいたおかげで全て覚えることができました。連合としては、リレーを除く全ての種目に出ました。1~3年生の力を合わせて行った種目は団結力を感じられたし、達成感がありました。全員リレーは最初、ずっと最下位だったのですが、終盤に追い上げトップでゴールすることができ、とても嬉しかったです。しかし総合結果は、オールブルーに1点差で負けてしまうという少し悔いの残る結果となってしまいました。でも、クラスや連合で力を合わせたから達成感があったし、よい思い出にもなりました。来年はこの中から実行委員長、応援団長他が輩出され、自分たちで運営していくこととなります。今年の体育大会を越えるべく、来年も力を合わせてがんばりたいなと思います。

◎短い期間の中で練習したので、完璧にできるかわからなかったけど、本番うまくいったのでよかったです。練習では、雨が降ったりして外で練習できないときもあったけど、楽しかったです。本番では多くの人が出てとても緊張しました。100mと4x100mリレーを走ったけど、どちらもあと少しのところまで抜かすことが出来なかったのが悔

しかったです。でも、自分の力を出せたので良かったと思いました。

暑くてしんどいと思ったときもあったけど、みんなで応援したりして、とても楽しい1日でした。全員リレーでは、けがとかで何人か走れなくてバタバタしたけど、みんなで協力し合ってなんとか走れたので安心しました。2年3組は、クラス優勝できたのでむっちゃうれしかったです。来年は私たちが引っ張っていくので頑張りたいです。



1年生

◎初めての体育大会でクラスでも連合でも優勝できたのでとてもうれしかったです。私はトランスフォーマーとみんなでジャンプと応援合戦と部活動紹介と連合対抗綱引きの応援と全員リレーと生徒会ダンスに出ました。トランスフォーマーで私たちの風船割りの時は、最下位だったけど、マッシュマロ探しとパン食い、コスプレ、借り人の子どもたちががんばってくれたので1位でゴールできてうれしかったです。みんなでジャンプは、初めは1回も跳べていなかったのに、34回跳べてうれしかったけど、4組が40回を越えて1位だったのですごいなと思いました。応援合戦は、私はオールレッドで演技の評価で1位になれたので、とてもうれしかったです。連合対抗綱引きでも1位でうれしかったです。全員リレーは初めの方で最下位になってしまって、結果は3位だったけど、みんなで一生懸命バトンをつないでいったので、とても楽しかったです。生徒会ダンスは男子とダンスをするから、少し気まずかったけど、2回目のジェンカは友達と友達の妹とやったので、とても楽しかったです。最高の思い出になりました。

◎僕は初めての体育大会に、とてもドキドキしていました。小学校とはどう違うのかとても緊張していました。でも、3年生が優しく教えてくれたのですぐにできました。だから、僕も3年生になったら、優しく教えてあげたいです。そして、体育大会当日、負けてしまったけど、全力で頑張ったので、よかったです。でも、3年生は、もっとかっこよかったです。みんなで協力してたくさん声を出していました。だから、とても僕はかなわないと思いました。でも、僕だって出来ると思うので、今の3年生に勝てるように頑張りたいです。初めての体育大会だったけど、たくさん学んだような気がしました。だから、学んだことを2年生の体育大会でぶつけてみたいです。やっぱり3年生は、僕たちを代表する人たちなんだなと思いました。だから、僕も代表になれる人になりたいです。そして、今の3年生に勝ちたいです。これが僕の体育大会を終えてです。たくさん思い出が出来そうです。

◎今年の体育大会は中学生になって初めてだったので少し緊張しました。結果はクラスも連合も最下位で少し悲しかったけど、とても楽しい体育大会になりました。私は、男女混合リレーに出ました。予行でしか練習ができず、あまり良いリレーにはならなかったけど全力で走ってよかったです。大縄は予行のとき、1位だったけど、本番では4組に負けてしまったので悔しかったです。連合では、テキパキとした応援ダンスだったので、とても難しかったです。だから、頑張って練習しました。私は、連合のジャンプも綱引きもリレーもでなかったけど、応援できてよかったです。クラスの全員リレーも予行は1位だったのに最下位でとても悔しかったです。部活の行進の時、吹奏楽部なので演奏しました。3年生の先輩たちが一緒に演奏してくださったのでとても良い演奏になりました。生徒会ダンスの最後は自由だったので、とても楽しかったです。来年はクラスも連合も勝って今年より楽しい体育大会にしたいです。

◎中学生になって初めての体育大会だったのですごく緊張しました。小学校でやった運動会とはまったく違っていたので何をやるのか？どうすればいいのか？など思うことがいっぱいありました。だけど、3年生が最後だということで3年生が盛り上がる楽しい体育大会にしたいと思いました。本番がはじまると3年生の顔も真剣になっていまし

た。すごくかっこいいと思いました。一番思い出に残ったのは応援です。いつも遅くまで3年生が振り付けを考えてくれたり、話し合ってくれたり、みんなの前でお手本を見せてくれたりして、しんどいと思うのにがんばってくれて、本当に感謝しています。本番でしたとき、すごくみんな頑張っていて、迫力があってすごかったです。イエローが一番良いパフォーマンスが出来たと思いました。生徒会ダンスでは、みんな笑顔でやれていたと思います。すごく楽しそうにできて良かったです。最後の最後、3年生の方がダンスを踊ってくれて、「あー、もうこれで3年生の体育大会は終わってしまったな、いい体育大会になったかな？」と思いました。でも、3年生のみんな笑顔で終わっていたので、最高の体育大会になって良かったです。来年はもっとおもしろい体育大会にしたいです。



文化・研修部のみなさん

「体育大会を終えて」

中野 恵

真夏を思わせるような猛暑の中、娘にとって中学校最後の体育大会でした。今年これまでの体育大会と違って、部活を引退したことで女子特有のお肉が付き、重くなった体と動かなくなった足でどれだけ走れるか不安でしたが、なんとか頑張って走り切れたのでホッとしました。競技実況では、原稿を見ながら実況するのがとても難しかったようで、競技の進行と実況がずれてしまった時はハラハラしながら聞いていましたが大きなミスをせず無事終われてよかったです。また、みんなでジャンプでは大きな声を出し、応援合戦では笑顔で踊り、どの競技も全力で頑張っている姿に感動し成長を感じました。これからの行事すべてが中学校最後の行事となります。悔いの残らないように素晴らしい中学校生活を終わられるように一生懸命頑張ってほしいです。

「体育大会を終えて」

猪垣 奈津

中学生最後の夏が終わりました。華やかな季節が過ぎ、子供たちは今どう感じているのでしょうか。今年の体育大会は天候にも恵まれ、母親の立場からいうとお弁当作りも迷いなく一度で済み、子供にとっても親にとっても清々しい最後の体育大会でした。三年生にもなると、家では口数がそんなに多くない息子に対して、「勉強してる?」「もうちょっとちゃんと片付けしたら」と、できてない所が見えがちで大丈夫かなと思ってしまっ、つい小言が言いたくなります。でもこの体育大会で、一生懸命に練習してきた事に取り組んでいる姿や真剣に走っている姿、友達と楽しそうに話す姿、また部活動行進の準備の時に後輩のお世話をしている姿、普段見る事のない子供の姿が、明るい太陽の中で余計にキラキラと眩しく見えました。こんなに頼もしいんだと思いました。子供の成長と共に、私自身がもう一步成長して、先回りせず、何も言わなくても色々考えているであろう子供を信じて、何事も受け止める事ができる親になれればなあと思います。

「中学生 最後の夏」

山下 良美

娘は中学三年生で中学生最後の夏が終わりました。小学四年生の夏、姉の姿を見てテニスに興味を持ちソフトテニスを始めました。はじめた頃は週末に一回練習していたのが、少しずつ練習が増え、六年生の時には週六日練習していました。中学生になった時に一つでも多くの試合に出て勝つために、三年生の総体で良い結果を出すために、小学生の時からずっと頑張ってきました。

しかし、最後の総体では残念ながら県大会に進む事ができませんでした。娘は試合に負け、悔しくて悔しくて涙が止まりませんでした。号泣し、なかなかコートから出てこられない娘。やっとコートから出てきてまだ気持ちの整理がつかない中、「めっちゃ悔しい。県大会出たかった。でも悔いはないよ。」と言った姿が忘れられません。五年間ソフトテニスをやってきて、最後の試合で負けはしましたが思いっきりプレーをし、悔いのなかった事は、私も五年間支えてきて良かったと思えた瞬間でした。

その日のラストミーティングに先生方・仲間・後輩たちへ、三年生から一人ひとりメッセージ。娘の言葉は色々な人に対して感謝の気持ちで溢れていました。勝つことの喜びを知り、負けることの悔しさを知り、ソフトテニスを通して、また試合を重ねてこれからの娘にとって大切な事を学びました。二年半、素敵な仲間と一緒に部活を頑張ってきた事はとても貴重な時間だったと思います。

二学期が始まり、体育大会に向けて朝練と変わらない時間に学校へ行き、放課後も準備と練習。一か月前の八月と変わらないような暑さの中での練習。毎日くたくたで帰宅。そして体育大会を迎え、一生懸命に走る姿、最後のユニフォーム姿、楽しそうに踊る姿に私達家族も全員で応援し楽しい体育大会でした。十五歳の暑い熱い夏が終わりました。

この夏、何事にも一生懸命に頑張る姿をたくさん見る事が出来ました。仲間を思いやり後輩を思いやり、心の成長も感じる事が出来ました。中学校生活もあと半年。一日一日大切に過ごし、一つでも多くの思い出を作って卒業の日を迎える事が出来ますように。



寄稿してくださった皆さま、ご協力ありがとうございました。

